

# JET からの手紙

## 多国籍コミュニケーション 学生に世界を届ける

山形県酒田市教育委員会学校教育課 外国語指導助手  
John Lennon (ジョン・レノン)

### インターナショナルデーの始まり

2022年の夏に、私は日本に戻ってJETプログラムを再開しました。このプログラムに参加するのは今回で2回目です。1回目は2013年に秋田県で働き、そこでインターナショナルデーのイベントについて知りました。その経験を踏まえて今回私が山形県で行った活動について、これから皆さんにお話ししたいと思います。

今回は、山形県酒田市で働いています。ここには、たくさんの素晴らしい場所がありますが、私が特におすすめする場所は、出羽三山、玉簾の滝、山居倉庫、十六羅漢岩供養石仏群などです。私が東北に住むのは今回で2回目ですが、この地域が大好きです。しかしながら、ここには本当に美しい場所がたくさんある一方で、日本の他の地域と比べると、外国人の居住者や観光客があまり多くありません。そのため、生徒は、英語で話す機会があまりありません。そこで、私は、生徒が恥ずかしがらず、心配しないで、外国人の人達に自分の意見や考えを自由に言えるようなコミュニケーションの機会を作りたいと思いました。ALT（外国語指導助手）の仲間や先生、教育委員会の皆さんとたくさんのミーティングを重ね、2024年、私が勤務する酒田市の中学校で、初めてインターナショナルデーを行うこととなりました。

### 多文化学習

インターナショナルデーの目標は、生徒が活動しながら簡単な英語でコミュニケーションをとり、世界のさまざまな文化について学ぶことです。幸運なことに、このイベントに参加した6人のALTはそれぞれ異なる国から来ていたので、生徒はフィリピン、シンガポール、

オーストラリア、イギリス、カナダ、アメリカの文化について学ぶことができました。英語圏の国々の素晴らしいコレクションですね。

6人のALTが私の中学校に来て、スポーツや料理、ダンス、ゲーム、伝統の衣装/ファッションの体験などのさまざまな活動をしました。スポーツ活動では、スパイクボールを行いました。カナダやアメリカの人々は、



6人のALTたちが中学校に来ました

公園でスパイクボールをします。小さいトランポリンで跳ねながらボールを相手に投げるスポーツですが、ルールはバレーボールに似ています。料理活動では、生徒は、アメリカ南部のお祭りの食べ物であるフライドオレオを作って食べました。ダンスの活動では、マカレナとラインダンスの一種であるオーストラリアの



英語ボードの飾りです。ALTの自己紹介があって、世界の地図でALTの国と故郷が分かります



アートクラブはALTの活動のポスターを作りました

ナットブッシュを踊りました。ゲームの活動では、英語のボードゲームとシンガポールの伝統ゲームを行いました。ファッションの活動では、生徒がフィリピンの衣装を試着しました。生徒はこれらの素晴らしい活動を通して、各国の文化を学びました。

## ショータイム

これらのイベントは5時間目と6時間目に行われました。6人のALTは、私の中学校に来て活動の準備をしました。私は、打ち合わせのためにALTをいろいろな活動の部屋に案内しました。

当日は、まず、体育館で開会式があり、校長先生が英語でのコミュニケーションの重要性について話し、ALTは自己紹介をしました。その後、ALTは、各自の活動の部屋に移動しました。生徒は、3つの活動に参加することができました。各活動はそれぞれ20分で行われ、その中に質問タイムを設けました。全ての活動が終わると、参加者全員が体育館に戻り、そこで、生徒はALTと自由に話したり、お互いに質問したりしました。最後に閉会式があり、生徒とALTがイベントのハイライトについて発表しました。誰もがインターナショナルデーをとて楽しむことができたので、2025年は、教育委員会、学校、ALTと協力して、さらに多くの学校でこのイベントを開催する予定です。より多くの生徒が英語を



生徒たちはアメリカの祭りとプライドオレオを学びました



スパイクボールのルールを学んで、ゲームをしました



英語のボードゲームをしました

使って世界について学ぶ機会を得られるよう、他の学校でもこのイベントを開催する支援ができればと思っています。

## 田舎暮らしから世界旅行者へ

私は、アメリカ、ニューハンプシャー州の小さな町から来ました。外国旅行をするというのはほとんどありませんでした。しかし、高校生のときスペイン語と日本語を勉強し始めて、外国のことについて興味を持つようになりました。大学生のときに外国語と国際情勢を勉強し、国際情勢を知るためにさまざまな国々の歴史、政治、文化を学び、カナダ、イギリス、スペイン、日本と4回留学しました。大学卒業後は、韓国と中国で英語教師として働き、JETプログラムにおいてALTとして2回働きました。

JETプログラムは重要だと思います。私は小学生と中学生のとき外国語の授業がなく、学校のほぼ全員が私と同じような顔をしていて、英語だけ話しました。さまざまな国の人々に会ったり、さまざまな文化を学んだり、さまざまな言語を学んだりする機会がなかった私はとても内気で、世間知らずな子どもでした。そのため、日本にいる生徒のために英語でコミュニケーションする機会を作ることを提唱してきました。韓国と中国では、生徒の親がお金を払わなければならない学校で働いていました。しかし、JETプログラムは、すべての生徒、教師、さらには地域住民に英語を使い、世界について学ぶ機会を与えることができます。だからこそ、JETプログラムを信じており、生徒が知識の探求において本物の英語を使う機会を与えるために努力し続けます。

### プロフィール



**John Lennon**  
(ジョン・レノン)

マサチューセッツ州に生まれ、ニューハンプシャー州の田舎町で育ちました。ニューハンプシャー大学では2つの学士号を取得しました。1つ目の学士号は国際関係学、2つ目の学士号はアジア研究です。今後は、大学院に進学して、教育と言語学を専攻したいと思っています。